

72 どんど焼き

活動



受賞者：狛江市ボーイスカウト連絡協議会
 推薦者：石川 英夫 さん

【推薦コメント】
 コメントなし

【講評】

「どんど焼き」とは、小正月の1月15日、または14日に行われる火祭りで、地域によっては「左義長（さぎちょう）」、「どんと焼き」などさまざまな名称で呼ばれています。長い竹や木、わら、杉などで作ったやぐらや小屋を組み、家から持ち寄ったお飾り、注連縄（しめなわ）、書き初めなどを積み上げて燃やし、「五穀豊穡」「無病息災」を祈願し、残り火でもちなどを焼いて食べるといった内容が一般的なものとなっています。また「書き初めを一緒に燃やし、高く上がると習字が上手くなる」といった言い習わしなどもあります。

このお正月の行事となっている「どんど焼き」が、狛江市ボーイスカウト連絡協議会の主催により、狛江市でも多摩川河川敷で実施されています。巨大なやぐらが登場し、一年の無事をみんなで祈願する盛大なものとなっています。地域の大人、子どもたちに支えられて実施されているといった点、正月の風物詩となる行事として大切にされている点を評価し、また、子どもが中心となって実施している行事ということで、継続的に実施していただきたいといった思いも込め、今回選定しました。